

植田小学校の ESD 活動

<活動の概要>

- ・本校では、ESDを「持続可能な特色ある学校づくり」と「未来を生き抜く力を育てる問題解決的な学習」と捉えて実践に取り組み、「いきいきと学び続ける子の育成」を旨としている。「特色ある学校づくり」については、地域、福祉、環境、防災を柱に、①地域人材の活用、②お年寄りにかかわる活動、③地域防災にかかわる学習を行っている。

・活動の実際

① 地域人材の活用（全学年）

本校の地域教育力は、地域教育ボランティアコーディネーターをはじめ、図書館ボランティアや学習支援ボランティア、地域の企業や商店など本校の教育に携わっていただけるかたがた総勢150名ほどが在籍している「植田いなほ会」の支援に代表される。学校（職員）と地域の架け橋を教頭が担い、多くのかたの生の声が聞けたり、多くの施設での実体験ができたりして、学習を深めている。



② お年寄りにかかわる活動（1～3年生）

1,2年生の生活科では、お年寄りのかたに栽培活動や昔遊びを教わるとともに、地域のかたの優しさにふれる機会となっている。

3年生では、福祉についての学習を展開している。地域のかたがたの協力のもと「認知症サポーター養成講座」と題してお年寄りへの声のかけ方を学んだり、盲導犬と生活をしているかたのお話を聞いたりして地域福祉への理解を深めている。ここしばらく、施設を訪問しての交流活動ができていないが、時機をみて再開していく予定である。



③ 地域防災にかかわる学習（5,6年生）

5年生は、いつ起きてもおかしくないといわれている「南海トラフ地震」に備えた防災学習、6年生は、日本各地で甚大な被害を及ぼしている大雨に備え、校区の水防災に焦点をあてた学習に取り組んでいる。ハザードマップ作りやマイ・タイムライン作りを通して、命を守るために必要な備えや行動を深く考えることができている。

これらの活動は、愛知県や豊橋市の行政のかたをはじめ、地域教育ボランティアや保護者、卒業生など多くのかたがたの協力によって成り立っている。学習の成果は、ホームページへのアップやハザードマップの家庭配付などを通して、多くのかたがたへの感謝とともに発信している。

